

1 実施期間 令和3年4月6日から令和4年3月25日

2 取組

(1) 概要

地域・保護者と「心をつなぐ」「ともに伸びる」学びを通して、自他を尊重する温かい心・態度の育成

年間を通して、生活科や総合的な学習の時間で地域の人やものとのつながりを大切にし、自ら課題を見つけ、みんなの力で解決策を考え、実行する「学び」を行った。

人と人との温かいかかわり合いの中で、自分を見つめ、自己肯定感を高めることへつなげた。また、地域の人とつながりを深める中で、地域の人やものよさに気付くとともに、それらが、人々の努力や工夫によって支えられていることにも気付き、地域を愛し、感謝する心、地域の発展に尽くそうとする心を育成していった。

(2) 具体的実践内容

学年	内容	活動の様子
全校	コロナ禍により、伝統行事である「茶摘み」を全校で行うことができなかったが、6年生が感染防止を考え、6年生と5年生で茶摘みを行った。また、毎年受け継がれている「沼田東小学校のお茶のキャラクター」を6年生が考えた。6年生一人一人が考えたキャラクターを幼稚園児、1、2年生までに投票してもらい決定し、全校に紹介した。さらに、今年はこのキャラクターが、6年生がお茶の葉を使って商品開発したお菓子のパッケージにも採用された。	今年度のお茶っ葉キャラクター 〈ライオ茶マン〉 
1年生 「あたらしい1ねんせいをしょうたいしよう」	コロナ禍により、新1年生を学校に招待し、授業の様子や生活の様子を伝えることができなかった。そこで、入学してきた時に新1年生にできることはないかを考え、教室の飾りを作ったり、手紙を書いたりして新1年生を迎える準備をした。	新1年生に向けた手紙 
2年生 「まちたんけんをしよう」	地域の駐在所や郵便局、農協、コミュニティーセンター等に行き、話を聞いたり、質問したりして地域の秘密を探ることができた。また、訪問した場所に学んだこと等を書いたお礼の手紙を渡した。	見学の様子 
3年生 「沼田東小学校のひみつをみつけよう」	沼田東小学校の秘密を見つけるために、沼田東小学校の「校歌」について調べた。校歌ができた経緯や歌詞の意味を学ぶ中で、歌詞の中に出てくる沼田東の町のよさに気付き、それをまとめ、地域に発信した。	調べたことをクイズにしたもの 

<p>4年生 「幼稚園さんが楽しめるお楽しみ会をひらこう」</p>	<p>地域の幼稚園や保育所の園児達との関わりを増やすため、お楽しみ会を企画した。どんな遊びが好きなのか、どのように説明したら伝わるのか考えながら準備を行い、お楽しみ会を実施した。</p>	<p>お楽しみ会の様子</p> 
<p>5年生 「地域の自然や環境について考えよう」</p>	<p>沼田東町の米作りについて地域の方から学んだ。地域の圃場を借り、地域の方と田植えや稲刈り、脱穀を体験した。一粒一粒に感謝しながら大切に食べようという思い等をお礼の手紙に書いた。 また、コロナ禍での体験活動として、ウォークラリーを行った。地域の様々な場所をグループで歩きながら、地域に関わるクイズに答えていく中で、今までは気付かなかった地域のよさに改めて気付くことができた。</p>	<p>脱穀の様子</p> 
<p>6年生 「沼田東小のよさをきらりと光る宝にしよう」</p>	<p>沼田東小のよさである「お茶の葉」を、さらに「きらりと光る宝」にし、多くの人に知ってもらいたいという思いで、お茶の葉を使った商品開発を行った。商品開発には、広島県立総合技術高等学校の生徒さんに協力していただいた。生徒さんに6年生が考えたレシピをプレゼンし、できた商品を高校で販売するために、ちらしや看板等を作り、当日は、それらを使ってお客さんに呼びかけをした。今年、プレゼンに道の駅の駅長さんも参加してくださり、道の駅でも商品を販売していただいた。</p>	<p>プレゼンの様子</p>  <p>お客さんに販売している様子</p> 

(3) 成果

○コロナ禍の影響で、時期によっては地域の方との交流ができないことも多かった。その中で自分たちにはできないかと考え、課題を見付けていくことができた。その課題解決に向けて、友達や地域の方との関わり合いを通しながら取組を進める中で、自他を尊重する温かい心や態度が育成された。アンケート結果からも、目標値には届かなかったが、1学期末に低かった「自分のよさを周りの人に認められていると思う」の意識向上が見られ、成果につながったと考える。